

令和7(2025)年度

編入学 学生募集要項

編 入 学

文 学 部

編入学 (学士)

法 学 部

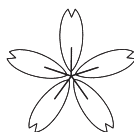
経 済 学 部

理 学 部

編入学 (高等専門学校出身者)

理 学 部

※本要項の記載内容は変更となる場合があります。
最新の情報は本学入試情報ホームページに掲載する「入試制度の変更点」にてお知らせします。必ず出願前（入学検定料納付前）及び受験前にご確認ください。



学 習 院 大 学

— 目 次 —

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
I. 編入学 — 文学部	13
II. 編入学（学士） — 法学部・経済学部	17
III. 編入学（学士） — 理学部	21
IV. 編入学（高等専門学校出身者） — 理学部	25
参考	29
納付金	
過去の志願者・合格者数	
入学検定料の返還について	
在留資格の取得について	
外国送金による入学検定料の振込について	
構内案内図	

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、法律及び「学習院個人情報保護規程」に基づき慎重に取り扱っております。出願及び入学手続においてご記入いただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、「入学試験の実施」、「合格発表」、「入学手続」及びこれらに付随する業務の処理を行うために利用します。

また、統計処理した上記個人情報を、本学における「入学者選抜方法の検討」、「教育改善のための調査・研究」、「大学の管理運営(各種調査・分析、事業企画)」、「広報活動」及びこれらに付随する業務のための資料として利用します。

なお、処理業務の一部は、本学アドミッションセンターより機密保持条項を含む契約を締結した業者に委託し、その際、必要な範囲で個人情報の全部又は一部を提供しますので、あらかじめご了承ください。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

学習院大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各学部・学科及び研究科・専攻で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

法学部

法学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

法学科

法学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知識を備えている。
3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。

（思考・判断・表現）

4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。（関心・意欲・態度）
5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

政治学科

政治学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知識を備えている。
3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。

（思考・判断・表現）

4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。（関心・意欲・態度）
5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

入学者選抜ごとの評価項目

法学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。

※入学者に期待する能力を、◎非常に重要、○重要、で表示。

入学者選抜	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を 持って多様な 人々と協働し て学ぶ態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（プラス試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（大学入学共通テスト利用入学者選抜）	大学入学共通テスト	◎	○		
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	推薦書	○	○	◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	志望理由（志願票裏面）			◎	本学入学後の勉学意欲及び本学部への適性について評価します。
	英語資格・検定試験	◎			
学校推薦型選抜（公募制） ※政治学科のみ実施	調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	推薦書	○	○	◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	志望理由書			◎	本学入学後の勉学意欲及び本学部への適性について評価します。
	活動報告書			◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	英語資格・検定試験	◎			
	英語問題	◎	○		
	論述問題	○	◎		
面接	○	○	◎		
「外国高等学校出身者」および 「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学びたいのか、海外生活で何を 得たのか等）			◎	本学入学後の勉学意欲及び本学部への適性について評価します。
	日本の高等学校の調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	外国学校の成績証明書	◎			
	資格証書	◎			
	小論文（日本語）	○	◎		
	面接（日本語）	○	○	◎	
編入学	志望理由（志願票裏面）			◎	本学入学後の勉学意欲及び本学部への適性について評価します。
	筆記試験	◎	◎		
	面接		○	◎	

経済学部

経済学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

経済学科

経済学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 身近な経済・社会問題に対して、知識や情報をもって、一貫した筋道を立てて考察することができる。
3. 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取った上で、考えをまとめ、的確に発信し、表現することができる。
4. 科学、芸術、自然、文化、スポーツなど幅広い分野に関心を持ち、多様な価値観を認めた上で、自らの考えを相手に伝えることができる。

（関心・意欲・態度）

5. 経済学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある。
6. 歴史、政治、地理、言語など、経済と関わりがある幅広い分野に関心がある。
7. 積極的に他者とコミュニケーションをとることによって、相互理解に努めようとする意欲がある。

経営学科

経営学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 身近な企業の活動、経済、政治、社会の動きに対して、正確な知識や情報を収集し、一貫した筋道を立てて思考する力を備えている。
3. 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取った上で、考えをまとめ、的確に発信し、表現する力を持っている。

（関心・意欲・態度）

4. 経営学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある。
5. 科学、芸術、自然、文化、スポーツなど幅広い分野に関心を持ち、世界各地で共通する価値とともに多様な存在を受け入れることができる。
6. 積極的に他者とコミュニケーションをとり、相互理解に努める意欲があり、柔軟性のある思考をすることができる。

入学者選抜ごとの評価項目

経済学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎＝非常に重要、○＝重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
一般選抜（プラス試験）	筆記試験	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
一般選抜（大学入学共通テスト利用入学者選抜）	大学入学共通テスト	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎	◎	◎	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを確認します。
	推薦書	○	○	○	受験者の人と成りについて客観的な見解を得ます。
	志望理由（志願票裏面）		◎	◎	志望理由と本学で提供する教育プログラムとの適合性を確認します。
	英語資格・検定試験	○			
学校推薦型選抜（公募制）	調査書	○	○	○	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
	推薦書	○	○	○	受験者の人と成りについて客観的な見解を得ます。
	志望理由書		◎	◎	志望度の高さとともに、志望理由と本学の教育プログラムとの適合性を判断します。
	活動報告書	◎		◎	課外活動や社会活動など、学力試験だけでは評価しにくい資質や能力を判断します。
	英語資格・検定試験	○	○		
	小論文		◎	◎	本学での学びに必要な基礎学力を有しているか、自分の考えをまとめる能力を有しているかどうかを判断します。
	面接		◎	◎	他者と協働するコミュニケーション能力と自分の考えを表現する力を判断します。
「外国高等学校出身者」および「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学びたいのか、海外生活で何を果たしたのか等）		◎	◎	志望理由と本学で提供する教育プログラムとの適合性ととともに、当該受験者の海外経験が学部の多様性や活性化に与える効果を判断します。
	日本の高等学校の調査書	◎	○	○	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
	外国学校の成績証明書	◎	○	○	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
	資格証書	◎			
	外国語（英文和訳）	◎	◎		
	面接（日本語）		◎	◎	他者と協働するコミュニケーション能力と自分の考えを表現する力を判断します。
外国人留学生入学試験	志願票（志望理由、学習計画等）		◎	◎	本学での学びに必要な基礎学力とともに、志望理由と本学で提供する教育プログラムとの適合性を判断します。
	日本留学試験	◎			日本語での基礎学力を判断します。
	面接（日本語）		◎	◎	日本語で自分の考えを表現するコミュニケーション能力、協働して学ぶ態度を判断します。
編入学	志望理由（志願票裏面）		○	○	志望理由と本学部で提供する教育プログラムとの適合性を判断します。
	筆記試験	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断します。
	面接		◎	◎	他者と協働するコミュニケーション能力と自分の考えを表現する力を判断します。

文学部

文学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

哲学科

哲学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 自身の見地から物事を論理的に考え、その内容、過程、結果などを的確に表現し、伝えることができる。

（関心・意欲・態度）

3. 哲学・思想史と美学・美術史の諸問題に、授業内容の修得にとどまらず、自発的に関心を持ち、その関心をより深めるために学問、調査、研究を行う意欲がある。

史学科

史学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 先入観なく、人間社会の多様なあり方を認識し、あくまで証拠（史資料）に基づいて合理的に判断し、その結果を論理的に説明できる。

3. 社会で起こっている諸現象に対して、日常的に証拠を考えたり、その現象が起こる理由や影響を考えたりする習慣を高校生らしい感性で身につけている。

（関心・意欲・態度）

4. 自らの研究課題を見つけるため、高等学校の授業の他、自発的な読書や博物館等の見学、ボランティアなどの課外活動を積極的に行い、過去の歴史的な社会のみならず、現代社会の諸現象への問題意識を持っている。

日本語日本文学科

日本語日本文学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

2. 教科書だけでなく、興味のあることについて読書をする習慣を養っている。

（思考・判断・表現）

3. 高等学校までの履修内容のうち、特に、国語科などを通じて、日本語・日本文学・日本文化・日本語教育について、深い興味と関心を持っているとともに、話す・聞く・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。

4. 高等学校までの英語などの外国語教育をいかして、世界と交流する自覚を持っている。

（関心・意欲・態度）

5. 日本語・日本文学・日本文化・日本語教育に関する現代的、国際的、あるいは歴史的な諸問題について、気になることを発見したら、図書館やインターネットなどを活用して、自主的な学習に取り組む意欲がある。

6. 収集した知識や情報をもとに、論理的に考察して、その結果を説明することができる。

英語英米文化学科

英語英米文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 身近な社会問題に対して主体的に関心を持ち、知識や情報を基に論理的に考え、その判断を具体的に表現できる。

(関心・意欲・態度)

3. 英語スキルに関して強い向上心を持つとともに、英語圏社会・文化と関わる領域で卒業後の希望・進路に合わせて具体的な目標を定め、持続的・継続的にトレーニングを実行できる。

ドイツ語圏文化学科

ドイツ語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 現代社会において身近に見られる言語・文化に関係する事柄や社会的問題について関心を持ち、情報を積極的に求め、自分なりの思考を展開することができる。

3. 与えられた情報の内容の概略を適切にまとめ、それに対する自らの考えを明確に筋道をたてて説明することができる。

(関心・意欲・態度)

4. ドイツ語圏の言語・文化・社会事情について強い関心を持ち、さらにヨーロッパや世界情勢と関連させて考えようとする意欲がある。
5. 他者の意見に耳を傾け、積極的にコミュニケーションをとる姿勢がある。

フランス語圏文化学科

フランス語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 高等学校の国語、とくに現代文において、文学作品に偏らず、社会・政治・哲学的内容をもった批評文を読み解き、その論の妥当性を判断し、自分の考えを言葉で表現することができる。

(関心・意欲・態度)

3. フランス語圏のみならず、広く外国の文化現象に対して好奇心を持ち、日常的な読書などを通じて、その好奇心を積極的に深める習慣を持っている。

心理学科

心理学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 科学的思考を用いることができる。
3. 自分の見方・考え方を相対化することができ、その上で相手に伝えることができる。
4. 心に対する一般的な見方や個人の経験に根ざした先入観にとらわれずに、心理に関わる問題について考えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 人間とその心に対する純然たる興味・関心を持っている。
6. 個人や社会が抱える心理的問題の解決を通じて、社会へ貢献する志向を持っている。

入学者選抜ごとの評価項目

文学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎＝非常に重要、○＝重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（プラス試験） ※心理、教育学科のみ実施	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（大学入学共通テスト利用入学者選抜）	大学入学共通テスト	◎	◎		
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況等を見ます。
	推薦書	○		○	
	志望理由（志願票裏面）	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性等を見ます。
	英語資格・検定試験 ※英語英米文化学科のみ	◎			
	口頭試問 ※英語英米文化学科以外で実施	○	◎	◎	
学校推薦型選抜（公募制）	調査書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況等を見ます。
	推薦書	○		○	
	志望理由書	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性等を見ます。
	小論文	○	◎		
	口頭試問	○	◎	◎	
「外国高等学校出身者」および「海外帰国生徒」対象入学者	志願票②（本学で何を学びたいのか、海外生活で何を果たしたのか等）	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性、海外での学習成果等を見ます。
	日本の高等学校の調査書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況等を見ます。
	外国学校の成績証明書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況等を見ます。
	資格証書	◎			
	外国語	◎	◎		
	日本語	◎	◎		
	小論文（日本語）	○	◎		
面接（日本語）	○	◎	◎		
外国人留学生入学試験	志願票（志望理由、学習計画等）	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性等を見ます。
	筆記試験	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	
編入学	志望理由（志願票裏面）	◎	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性等を見ます。
	外国語に関する既取得資格等記入票	◎			
	現在（2年次）履修中の科目記入票	◎			
	筆記試験	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	

理学部

理学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

物理学科

物理学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 物理学分野についての能力や知識がある。

（思考・判断・表現）

3. 論理的に考えることができ、自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

（関心・意欲・態度）

5. 実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、幅広い分野に関心がある。

化学科

化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 化学分野についての能力や知識がある。

（思考・判断・表現）

3. 論理的に考えることができ、自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

（関心・意欲・態度）

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、国語や外国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

数学科

数学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 高等学校で学ぶ数学分野についての能力や知識がある。

（思考・判断・表現）

3. 自分の頭でしっかりと物を考え、自分の目で自然や数理の世界を観察できる。
4. 定理や公式の本質を理解し、基本に立ち戻って考えることで未知の問題に対処できる。

（関心・意欲・態度）

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、幅広い分野に関心がある。

入学者選抜ごとの評価項目

理学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎＝非常に重要、○＝重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学 ぶ態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（プラス試験） ※物理、化、数学科のみ実施	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（大学入学共通テスト 利用入学者選抜） ※化、生命科学科のみ実施	大学入学共通テスト	◎	◎		
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎		○	高等学校での学習成果及び出席状況を見ます。
	推薦書	○		○	
	志望理由（志願票裏面）		○	◎	今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度等を見ます。
	口頭試問	○	◎		
学校推薦型選抜（公募制）	調査書	◎		○	高等学校での学習成果及び出席状況を見ます。
	推薦書	○		○	
	志望理由書		○	◎	今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度等を見ます。
	筆記試験	◎	◎		
	面接	◎	◎		
「外国高等学校出身者」および 「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学びたいのか、海外生活で何を 得たのか等）		○	◎	海外経験で得たもの、今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度等を見ます。
	日本の高等学校の調査書	○		○	高等学校での学習成果及び出席状況を見ます。
	外国学校の成績証明書	○		○	高等学校での学習成果及び出席状況を見ます。
	資格証書	◎			
	筆記試験	◎	◎		
	面接	○	○	◎	
編入学	志望理由（志願票裏面）		○	◎	今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度等を見ます。
	筆記試験	◎	◎		
	口頭試問	◎	○		

I. 編 入 学 一 文 学 部

① 趣 旨

すでに大学教育を2年以上受けた者（見込み又は下記の③出願資格を満たす者を含む）で、本学文学部に於いて勉強を継続しようとする者を対象とする編入学試験です。編入学年は、一律3年次とします。

② 募集人員

学 部	学 科	募集人員
文 学 部	史 学 科	若 干 名

※ 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

③ 出願資格

以下のいずれかに該当する者

- (1) 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は2025年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を有する者又は2025年3月までに取得見込みの者
- (3) 修業年限4年以上の大学に2年以上在学した者で、60単位以上を修得している者（教職・資格科目の場合、卒業のために修得が必要な科目であれば、60単位に含めることができる。）
- (4) 修業年限4年以上の大学に、2025年3月をもって2年以上在学し、60単位以上を修得し、2年次以上を修了する見込みである者で、出願時点で既に30単位以上を修得している者（教職・資格科目の場合、卒業のために修得が必要な科目であれば、修得見込みの60単位、及び既に修得した30単位に含めることができる。）

なお、外国の教育機関又は日本の学校教育法に定めるもの以外の大学・短期大学において、前各号のいずれかの出願資格に相当する学校教育の課程を経ている者は、2024年9月25日（水）～10月2日（水）の期間に、必ず出願資格の有無を本学アドミッションセンターへお問合せください。

この期間に出願資格が確認されていない場合、出願が受理されないことがあります。

※上記の出願資格に該当する者のうち、卒業見込み・学位取得見込み・出願資格単位修得見込みの者が、2025年3月31日までに卒業・学位取得・出願資格単位修得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

出願にあたっての注意

1. 編入学者は、6年間を超えて在学することができません。
2. 外国語科目も含めて、前の学校で修得した単位が全て本学文学部の卒業に必要な単位として認定されるわけではありません。この単位認定は、入学後、前の学校での最終的な成績証明書をもとに行います。したがって、認定される科目、単位数、外国語科目（本学文学部では2か国語の外国語科目が必修となっています）の修得状況等によっては、編入後2年間で卒業することが難しい場合もあります。
3. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。ただし、**身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、2024年10月2日(水)までに必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。**
4. 出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。締切を過ぎた場合、出願は受け付けません。
5. 出願資格及び出願書類等に疑問のある場合は、2024年9月25日（水）～10月2日（水）までに必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。
6. 同一試験日の他の入試制度との併願はできません。

4 出願手続

1. 出願期間：2024年10月15日(火)～10月18日(金)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

2. 出願書類等

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下表の書類を全て本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。記載の書類以外の提出は、一切認めません。

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

提出書類（◎全員必須／○該当者必須／－不要）

出願資格				出願書類	備考
①	②	③	④		
◎				1. 編入学志願票 2. 写真票兼入学検定料受取書 (大学提出用)	本学所定の用紙 必要事項を記入してください。貼付する写真2枚（縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。)
○	○	－	－	3. 卒業証明書 又は卒業見込証明書	出身又は在学の大学・学校の学長・校長若しくは学部長が証明したもの。
－	－	○	○	4. 在学証明書 又は退学証明書	大学評価・学位授与機構によって学士の学位を授与された者又は授与される見込みの者は授与（見込）証明書を提出してください。
◎				5. 成績証明書	出願資格(4)に該当する者は、各科目の履修年次が記載されている成績証明書を提出する必要があります。 学校の発行する成績証明書に履修年次が明記されていない場合、成績証明書にくわえて、1年次の学年末に交付された成績表を添付してください。
－	－	－	○	6. 修得見込科目記入票	本学所定の用紙 出願資格(4)に該当する者のみ提出してください。
○				7. 外国語に関する既取得資格等記入票	本学所定の用紙 特定の資格を取得している者のみ提出してください。
○				8. 外国語に関する検定試験合格証明書等のコピー	ドイツ語・フランス語に関して、7の記入票に既取得資格等を記した場合は、その合格を証明する書類又は出願時に有効な公式スコア（資格証書）のコピーを提出してください。
○				9. 外国送金依頼書 本人控のコピー	日本国外の銀行から外国送金した場合、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクリーンショット（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

※外国人志願者の場合は、①住民票（居住する地方公共団体が発行したもの）又は②パスポートのコピーを提出してください。

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

※証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。

※出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認のうえ、出願してください。また、本学から連絡があったときは、速やかにその指示に従ってください。

⑤ 出願手続に関する注意

1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ 現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込は使用しないでください。
- ④ 振込依頼書（取扱店保存）のコード欄には、下表の志望学科のコード（2桁）を記入してください。

文 学 部	
史 学 科	32

- ⑤ 振込期間 2024年10月9日(水)～10月18日(金)（期間外は取り扱いません）
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）を他の出願書類とともに提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（30頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますのであらかじめご承知おきください。
なお、振込手数料については、返還することができません。
- ⑧ 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合は、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

2. 受験票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

選考実施日の3日前までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまでお問合せください。

⑥ 選 考

1. 試験日 2024年11月23日（土）

2. 試験科目及び試験時間

学科	時間	筆 記 試 験		面 接
		9：00～10：00（60分）	10：20～11：50（90分）	13：00～
史 学 科	外国語（英語・日本語のうちから1言語選択）注1	歴史（小論文を含みます）	学科の研究室において面接を行います。 詳しい集合時間は筆記試験当日にお知らせします。	

注1. 史学科の外国語試験は、母語を選択することはできません。

3. 試験場 西2号館 試験室については、受験票でお知らせします。

受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器は、試験場（教室）に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計・スマートウォッチ等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験内容に係る撮影・録画・録音を禁止します。

4. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
5. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机上に置いてください。
6. 受験票以外に机上に置くことができるものは、鉛筆・ボールペン・鉛筆削り・消しゴムです。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
7. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
8. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

7 合格発表

2024年11月29日(金) 10:00

1. 以下のホームページに合格者の受験番号一覧を掲載します。
また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>
2. 可否に関するお問合せには、一切応じません。

8 入学手続（詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。）

入学手続締切日 2024年12月13日(金)

延納分納入締切日 2025年2月28日(金)

「高等教育の修学支援新制度」（授業料等減免）について

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免の対象校として認定されています。授業料等減免に関する申請手続については、入学後に案内を行いますので、同制度の利用希望者であっても、合格者は一律に本要項及び入学手続要項に沿って入学手続を完了してください。

1. 合格者は、入学手続締切日までに納付金を一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。
※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。
2. 入学手続時納付金
2025年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として29頁に2024年度の納付金を掲載します。
なお、納付方法及び金額については、入学手続要項に明示します。

入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、2025年3月31日（月）16:00までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

納付金の転用について

入学手続完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部・学科又は大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部・学科又は大学院の納付金として転用することができます。この手続方法等については、本学アドミッションセンターへお問合せください。

9 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

Ⅱ. 編入学（学士） — 法学部・経済学部

① 趣 旨

学士の資格を有する者又は出願の年度の3月までに学士の資格を取得する見込みの者で、本学第3年次に入学を志願する者には、学部の定めるところにより選考のうえ、入学を許可することがあります。

② 募集人員

学 部	学 科	募集人員
法 学 部	法 学 科	若 干 名
	政 治 学 科	〃
経 済 学 部	経 済 学 科	〃
	経 営 学 科	〃

(注) 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

入学許可学年

原則として3年次に入学を許可します。ただし、試験の成績及び修得単位数等によっては、2年次に入学を許可する場合があります。

③ 出願資格

学士の学位を有する者又は2025年3月までに取得見込みの者

※学士の学位を取得見込みの者が、2025年3月31日までに取得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することができません。
3. 編入学者の履修科目は、各学部の定めるところによります。
4. 以前在学した大学等において修得した学科目と単位数の認定（免除及び換算）は、入学後に最終的な成績証明書をもとに各学部教授会において行います。
5. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。
ただし、身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、2024年10月2日(水)までに必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。
6. 出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。締切を過ぎた場合、出願は受け付けません。
7. 出願資格及び出願書類等に疑問のある場合は、2024年9月25日(水)～10月2日(水)の間に、必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。この期間に出願資格が確認されない場合、出願が受理されないことがあります。
8. 同一試験日の他の入試制度との併願はできません。

④ 出願手続

1. 出願期間：2024年10月15日(火)～10月18日(金)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

2. 出願書類等

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に次頁の表の書類を全て本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。**記載の書類以外の提出は、一切認めません。**

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

1. 編入学志願票	本学所定の用紙
2. 写真票兼 入学検定料受取書 (大学提出用)	必要事項を記入してください。 貼付する写真2枚(縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像(顔等)を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。)
3. 卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身又は在学の大学長若しくは学部長が証明したもの。大学評価・学位授与機構によって学士の学位を授与された者又は授与される見込みの者は、授与(見込)証明書を提出してください。
4. 成績証明書	
5. 外国送金依頼書 本人控のコピー	日本国外の銀行から外国送金した場合、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ(PDF)を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

※外国人志願者の場合は、①住民票(居住する地方公共団体が発行したもの)又は②パスポートのコピーを提出してください。

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

※証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。

※出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分にご確認のうえ、出願してください。また、本学から連絡があったときは、速やかにその指示に従ってください。

5 出願手続に関する注意

1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ 現金自動預払機(ATM)、インターネットによる振込は使用しないでください。
- ④ 振込依頼書(取扱店保存)のコード欄には、下表の志望学科のコード(2桁)を記入してください。

法 学 部		経 済 学 部	
法 学 科	11	経 済 学 科	21
政 治 学 科	12	経 営 学 科	22

- ⑤ 振込期間 **2024年10月9日(水)～10月18日(金)**(期間外は取り扱いません)
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書(大学提出用)を他の出願書類とともに提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします(30頁参照)。この場合、返還には時間がかかりますのであらかじめご承知おきください。
なお、振込手数料については、返還することができません。
- ⑧ 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合は、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ(PDF)を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

2. 受験票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

選考実施日の3日前までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまでお問合せください。

⑥ 選 考

1. 試験日 2025年2月20日(木)

2. 試験科目及び試験時間

学部・学科		筆記試験			面接
法学部		9:00～10:00(60分)	10:00～11:00(60分)		筆記試験終了後
	法 学 科	小 論 文			※法学科のみ実施 時間・場所は試験当日 にお知らせします。
	政 治 学 科	法 学 政 治 学 社 会 学	1科目選択	英 語 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語	
経済学部	経 済 学 科	9:00～10:00(60分)	10:00～11:00(60分)		13:00～
	経 営 学 科	経 済 学 経 営 学	1科目選択	英 語	時間・場所は試験当日 にお知らせします。

(注) 法・経済学部共に筆記試験では途中休憩はありません。

3. 試験場 西2号館 試験室については、受験票でお知らせします。

受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器は、試験場(教室)に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計・スマートウォッチ等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物(鞆等に入っている場合は鞆ごと)を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験内容に係る撮影・録画・録音を禁止します。
4. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
5. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
6. 受験票以外に机の上に置くことができるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン(黒又は青のみ)・鉛筆削り・消しゴム・時計です。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
7. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
8. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

⑦ 合格発表

2025年3月10日(月) 10:00

1. 以下のホームページに合格者の受験番号一覧を掲載します。
また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>
2. 可否に関するお問合せには、一切応じません。

⑧ 入学手続(詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。)

入学手続締切日 2025年3月13日(木)

「高等教育の修学支援新制度」(授業料等減免)について

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免の対象校として認定されています。授業料等減免に関する申請手続については、入学後に案内を行いますので、同制度の利用希望者であっても、合格者は一律に本要項及び入学手続要項に沿って入学手続を完了してください。

1. 合格者は、入学手続締切日までに納付金を一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。

※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。

2. 入学手続時納付金

2025年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として29頁に2024年度の納付金を掲載します。

なお、納付方法及び金額については、入学手続要項に明示します。

入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、2025年3月31日（月）16:00までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

納付金の転用について

入学手続完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部・学科又は大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部・学科又は大学院の納付金として転用することができます。この手続方法などについては、本学アドミッションセンターへお問合せください。

⑨ 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

Ⅲ. 編入学（学士）— 理学部

① 趣 旨

学士の資格を有する者又は出願の年度の3月までに学士の資格を取得する見込みの者で、本学第3年次に入学を志願する者には、学部の定めるところにより選考のうえ、入学を許可することがあります。

② 募集人員

学 部	学 科	募集人員
理 学 部	物 理 学 科	若 干 名
	化 学 科	〃
	数 学 科	〃

(注) 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

入学許可学年

原則として3年次に入学を許可します。ただし、試験の成績及び修得単位数等によっては、2年次に入学を許可する場合があります。

③ 出願資格

学士の学位を有する者又は2025年3月までに取得見込みの者で、希望する学科へ編入学ができる科目に相当する学科目の単位を修得している者

※学士の学位を取得見込みの者が、2025年3月31日までに取得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

※出願希望者は、2024年9月25日(水)～10月2日(水)の期間に、必ず出願資格の有無を本学アドミッションセンターへお問合せください。この期間に出願資格が確認されていない場合、出願を認めません。

出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することはできません。
3. 編入学者の履修科目は、各学科の定めるところによります。
4. 以前在学した大学等において修得した学科目と単位数の認定（免除及び換算）は、入学後に最終的な成績証明書をもとに理学部教授会において行います。
5. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。
ただし、身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、2024年10月2日(水)までに必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。
6. 出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。締切を過ぎた場合、出願は受け付けません。
7. 出願資格及び出願書類等に疑問がある場合は、2024年9月25日(水)～10月2日(水)の間に、必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。
8. 同一試験日の他の入試制度との併願はできません。

④ 出願手続

1. 出願期間：2024年10月15日(火)～10月18日(金)
(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

2. 出願書類等

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に次頁の表の書類を全て本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。記載の書

類以外の提出は、一切認めません。

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

1. 編入学志願票	本学所定の用紙 必要事項を記入してください。 貼付する写真2枚（縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。）
2. 写真票兼 入学検定料受取書 (大学提出用)	
3. 卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身又は在学の大学長若しくは学部長が証明したもの。大学評価・学位授与機構によって学士の学位を授与された者又は授与される見込みの者は、授与（見込）証明書を提出してください。
4. 成績証明書	
5. 外国送金依頼書 本人控のコピー	日本国外の銀行から外国送金した場合、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

※外国人志願者の場合は、①住民票（居住する地方公共団体が発行したもの）又は②パスポートのコピーを提出してください。

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

※証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。

※出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分にご確認のうえ、出願してください。また、本学から連絡があったときは、速やかにその指示に従ってください。

⑤ 出願手続に関する注意

1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ 現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込は使用しないでください。
- ④ 振込依頼書（取扱店保存）のコード欄には、下表の志望学科のコード（2桁）を記入してください。

理 学 部	
物 理 学 科	41
化 学 科	42
数 学 科	43

- ⑤ 振込期間 2024年10月9日(水)～10月18日(金)（期間外は取り扱いません）
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）を他の出願書類とともに提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（30頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますのであらかじめご承知おきください。
なお、振込手数料については、返還することができません。
- ⑧ 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合は、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

2. **受験票** 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。
 選考実施日の3日前までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまでお問合せください。

6 選 考

1. 試験日 2024年12月7日(土)

2. 試験科目及び試験時間

学部・学科		筆記試験	口頭試問
理 学 部	物 理 学 科 化 学 科 数 学 科	試験科目等については、願い出があった場合に定めます。	

3. **試験場** 西2号館 試験室については、受験票でお知らせします。

受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器は、試験場（教室）に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計・スマートウォッチ等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験内容に係る撮影・録画・録音を禁止します。
4. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
5. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
6. 受験票以外に机の上に置くことができるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（黒又は青のみ）・鉛筆削り・消しゴム・時計です。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
7. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
8. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

7 合格発表

2024年12月13日(金) 10:00

1. 以下のホームページに合格者の受験番号一覧を掲載します。
 また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>
2. 可否に関するお問合せには、一切応じません。

8 入学手続（詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。）

入学手続締切日 2025年1月9日(木)

延納分納入締切日 2025年2月28日(金)

「高等教育の修学支援新制度」（授業料等減免）について

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免の対象校として認定されています。授業料等減免に関する申請手続については、入学後に案内を行いますので、同制度の利用希望者であっても、合格者は一律に本要項及び入学手続要項に沿って入学手続を完了してください。

1. 合格者は、入学手続締切日までに納付金を原則として一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。
 ※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。

2. 入学時納付金

2025年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として29頁に2024年度の納付金を掲載します。
なお、納付方法及び金額については、入学時納付金要項に明示します。

授業料などの延納手続について

授業料などの延納を希望する場合は、入学時納付金締切日までに入学金を納入すれば、延納分納入締切日まで延納分の授業料などを延納することができます。

入学辞退

本学への入学時納付金を行った後、入学辞退を希望し、2025年3月31日（月）16:00までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

納付金の転用について

入学時納付金完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部・学科又は大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部・学科又は大学院の納付金として転用することができます。この手続方法等については、本学アドミッションセンターまでお問合せください。

9 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

IV. 編入学（高等専門学校出身者） — 理学部

① 募集人員

学 部	学 科	募集人員
理 学 部	物 理 学 科	若 干 名
	化 学 科	〃
	数 学 科	〃

(注) 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

入学許可学年

原則として3年次に入学を許可します。ただし、試験の成績及び修得単位数等によっては、2年次に入学を許可する場合があります。

② 出願資格

高等専門学校を卒業した者又は2025年3月までに卒業見込みの者

※卒業見込みの者が、2025年3月31日までに卒業できなかった場合は、入学許可を取り消します。

出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することはできません。
3. 編入学者の履修科目は、各学科の定めるところによります。
4. 高等専門学校で修得した学科目と単位数の認定（免除及び換算）は、入学後に最終的な成績証明書をもとに理学部教授会において行います。
5. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。
ただし、身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、2024年10月2日(水)までに必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。
6. 出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。締切を過ぎた場合、出願は受け付けません。
7. 出願資格及び出願書類に疑問がある場合には、2024年9月25日(水)～10月2日(水)の間に、必ず本学アドミッションセンターへお問合せください。この期間に出願資格が確認されていない場合、出願が受理されないことがあります。
8. 同一試験日の他の入試制度との併願はできません。

③ 出願手続

1. 出願期間：2024年10月15日(火)～10月18日(金)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

2. 出願書類

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に次頁の表の書類を全て本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。**記載の書類以外の提出は、一切認めません。**

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

1. 編入学志願票	本学所定の用紙 必要事項を記入してください。 貼付する写真2枚（縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。）
2. 写真票兼 入学検定料受取書 (大学提出用)	
3. 卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身又は在学の高等専門学校長が証明したもの。
4. 成績証明書	
5. 外国送金依頼書 本人控のコピー	日本国外の銀行から外国送金した場合、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

※外国人志願者の場合は、①住民票（居住する地方公共団体が発行したもの）又は②パスポートのコピーを提出してください。

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

※証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。

※出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分にご確認のうえ、出願してください。また、本学から連絡があったときは、速やかにその指示に従ってください。

4 出願手続に関する注意

1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ 現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込は使用しないでください。
- ④ 振込依頼書（取扱店保存）のコード欄には、下表の志望学科のコード（2桁）を記入してください。

理 学 部	
物 理 学 科	41
化 学 科	42
数 学 科	43

- ⑤ 振込期間 **2024年10月9日(水)～10月18日(金)（期間外は取り扱いません）**
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）を他の出願書類とともに提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（30頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますのであらかじめご承知おきください。
なお、振込手数料については、返還することができません。
- ⑧ 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合は、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを本学アドミッションセンターに提出してください。

2. 受験票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

選考実施日の3日前までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまでお問合せください。

⑤ 選 考

1. 試験日 2024年12月7日(土)

2. 試験科目及び試験時間

物 理 学 科	筆 記 試 験			口頭試問 13:30～
	9:00～10:00 数学(60分)	10:10～11:10 物理(60分)	11:20～12:20 英語(60分)	
化 学 科	9:00～10:00 数学(60分)	10:10～11:10 化学(60分)	11:20～12:20 英語(60分)	13:30～
数 学 科	9:00～11:10 数学(130分)		11:20～12:20 英語(60分)	13:30～

3. 試験場 西2号館 試験室については、受験票でお知らせします。

受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話等は、試験場(教室)に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等の通信機器を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計・スマートウォッチ等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物(鞆等に入っている場合は鞆ごと)を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験内容に係る撮影・録画・録音を禁止します。
4. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
5. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
6. 受験票以外に机の上に置くことができるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン(黒又は青のみ)・鉛筆削り・消しゴム・時計です。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
7. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
8. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

⑥ 合格発表

2024年12月13日(金) 10:00

1. 以下のホームページに合格者の受験番号一覧を掲載します。
また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>
2. 可否に関するお問合せには、一切応じません。

⑦ 入学手続 (詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。)

入学手続締切日 2025年1月9日(木)

延納分納入締切日 2025年2月28日(金)

「高等教育の修学支援新制度」(授業料等減免)について

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免の対象校として認定されています。授業料等減免に関する申請手続については、入学後に案内を行いますので、同制度の利用希望者であっても、合格者は一律に本要項及び入学手続要項に沿って入学手続を完了してください。

1. 合格者は、入学手続締切日までに納付金を原則として一括納入(銀行等振込)のうえ、必要書類を簡易書留(かつ速達扱い)郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。
※出願時に「見込み(卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み)」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。

2. 入学時納付金

2025年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として29頁に2024年度の納付金を掲載します。
なお、納付方法及び金額については、入学時納付金要項に明示します。

授業料などの延納手続について

授業料などの延納を希望する場合は、入学時納付金締切日までに入学金を納入すれば、延納分納入締切日まで延納分の授業料などを延納することができます。

入学辞退

本学への入学時納付金を行った後、入学辞退を希望し、2025年3月31日（月）16:00までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

納付金の転用について

入学時納付金完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部・学科又は大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部・学科又は大学院の納付金として転用することができます。この手続方法等については、本学アドミッションセンターへお問合せください。

⑧ 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

参考：2024年度学習院大学入学者納付金

(単位 円)

区分 費目	法学部	経済学部	文学部		理学部		
			哲学科・史学科 日本語日本文学科 英語英米文化学科 ドイツ語圏文化学科 フランス語圏文化学科	心理学科 教育学科	物理学科 化学科 生命化学科	数学科	
入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	
授業料 第1期 ※1	458,000	458,000	495,000	495,000	664,500	664,500	
授業料 第1期 ※2	338,000	338,000	375,000	375,000	544,500	544,500	
研究実験費	—	—	—	30,000	80,000	—	
施設設備費	310,000	310,000	310,000	310,000	370,000	370,000	
父母会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
輔仁会費	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	
学習院大学新聞代	500	500	500	500	500	500	
学会費	2,500	—	2,000	2,000	—	—	
1 年 次	入学手続時納付額	982,300	979,800	1,018,800	1,048,800	1,326,300	1,246,300
	第2期 納付額 ※2	338,000	338,000	375,000	375,000	544,500	544,500
	合計	1,320,300	1,317,800	1,393,800	1,423,800	1,870,800	1,790,800
2 年 次 以 降	第1期 納付額	782,300	779,800	818,800	848,800	1,126,300	1,126,300
	第2期 納付額	338,000	338,000	375,000	375,000	544,540	544,540
	合計	1,120,300	1,117,800	1,193,800	1,223,800	1,670,800	1,590,800

※1 在籍料120,000円を含んだ金額です。

※2 第2期分の振込依頼書は、9月中旬に保証人宛に送付いたします。

注意1. 2年次以降の納付は毎年第1期分4月、第2期分9月の年2回に分けて行います。なお、4月に年額を1回で納付することもできます。

2. 上記納付金のうち、授業料及び施設設備費については、卒業まで同額とします。授業料及び施設設備費以外の納付金に変更があった場合には、新たに定められた金額を納付するものとします。

参考：その他資格取得の場合の納付額（教職課程・学芸員課程）（2024年度参考）

教職課程：教職課程履修費として、正式履修開始年度に、15,000円（正式履修者全員）

介護等体験費として、体験年度に、11,000円（小・中学校の免許取得希望者）

学芸員課程：博物館に関する科目履修費として履修開始年度4月に 10,000円

博物館実習履修費として実習履修年度4月に 5,000円

○上記納付金の他に、桜友会基本会費（永年同窓会費：徴収は1回のみ）35,000円を入学後3年目の学費第1期分にて徴収いたします。ただし、編入学者、再入学者、外国人留学生入学者については、桜友会が入学手続後又は在学中に徴収します。

桜友会基本会費に関するお問合せは、桜友会事務局にご照会願います。

桜友会事務局 03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

参考：過去の志願者・合格者数

【編入学】

学部	学科	2024年度		2023年度		2022年度		2021年度		2020年度	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
文	哲学科	-	-	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	4	3
	史学科	7	1							4	1
	日本語日本文学科	-	-							8	2
	英語英米文化学科	-	-							22	4
	ドイツ語圏文化学科	-	-							0	0
	フランス語圏文化学科	-	-							3	2
	心理学科	-	-							11	1

【編入学（学士）】

学部	学科	2024年度		2023年度		2022年度		2021年度		2020年度	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
法	法学科	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0
	政治学科	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1
経済	経済学科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	経営学科	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
理	物理学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	数学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【編入学（高等専門学校出身者）】

学部	学科	2024年度		2023年度		2022年度		2021年度		2020年度	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
理	物理学科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	化学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	数学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

参考：入学検定料の返還について

入学検定料返還の対象となる理由

以下のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします。

- 書類未提出：入学検定料を納入したが、出願書類を出願期間内に提出しなかった。
- 期間外振込：振込期間後に振り込んだ。
- 過剰納入：入学検定料を適正な金額より多く納入した。
- 出願不受理：入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により、出願が受理されなかった。
- その他：本学が認める特別な理由により、入学検定料返還の対象となった。

入学検定料の返還手続（郵送に限る）

必要書類①・②を簡易書留で2025年2月末日までに郵送してください。（消印有効）

(宛先) 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
学習院大学アドミッションセンター

※封筒の表面に 入学検定料返還願在中 と朱書きしてください。

- ① 入学検定料返還願（本学所定用紙）
「入学検定料返還願」の太枠内に必要事項を記入してください。「入学検定料返還願」は、以下のホームページからダウンロードしてください。
<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/refund/>
- ② C票／入学検定料受取書（本人保存用）
「入学検定料返還願」の裏面に、入学検定料を納入した際のC票／入学検定料受取書（本人保存用）を貼付してください。

入学検定料返還願が受理されてから、指定の口座に入学検定料を振り込むまで3週間程度時間がかかりますのであらかじめご承知おきください。なお、振込手数料については、返還することができません。

在留資格の取得について

外国人受験生は、原則として入学前に「留学」の在留資格を取得してください。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格（「定住者」「家族滞在」等）でも入学・在学することはできますが、授業料減免や奨学金受給の対象になりません（「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません）。在留資格に関する申請書類の発行及び入学許可証の発行手続については、以下のホームページをご確認ください。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/pass/residence/>

※本学入学に支障のないビザ（有効期限が2025年4月1日以降のもの）を保有していない場合、本学での修学が不可能となります。在留資格審査は、出入国在留管理を所管する行政庁が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、本学は一切の責任を負いません。また、入学辞退申込締切日時後は、いかなる理由があっても、入学手続時納付金は返還いたしません。

※入学手続時に日本国外に居住し在留資格を有しない者で、所定の期日までに入学諸手続を完了した者は、本学による「在留資格認定証明書」（「留学」）の代理申請を選択することができます。代理申請を選択した者は、「在留資格認定証明書」（「留学」）を大学から受領後、2025年3月31日（月）16：00までに、入学後も有効な「留学」の在留資格を証明する書類（パスポートの顔写真とビザ（査証）のスタンプページのコピー）を提出する必要があります。提出できなかった場合は、本学での修学が不可能となりますのでご注意ください（手続の詳細は上記の本学ホームページをご確認ください）。

なお、2025年3月31日（月）16：00までに入学辞退を申し出た場合は、納入済の入学手続時納付金（入学金を除く）を返還します。

外国送金による入学検定料の振込について

出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合は、以下のとおり、外国送金により入学検定料を振り込んでください。

【振込先】

送金種類 (Transfer Type)	海外向電信送金 (Overseas Transfer)	
支払方法 (Payment Method)	通知払 (Advise and Pay)	
円為替取扱手数料 (Lifting Charge)	依頼人負担 (Remitter's Account)	
送金金額 (Amount)	入学検定料+外国向け送金の際にかかる手数料	
送金目的 (Purpose)	入学検定料 (Screening Fee)	
連絡事項 (Message)	※送金人 (Remitter) が志願者本人でない場合は、志願者本人の氏名 (アルファベット) を記入してください。	
送金先	銀行名 (Bank Name)	三菱 UFJ 銀行 (MUFG Bank,Ltd.)
	支店名 (Branch)	高田馬場支店 (Takatanobaba Branch)
	口座番号 (Account Number)	2059039
	受取人 (Beneficiary)	Gakkohojin Gakushuin
	銀行住所 (Bank Address)	〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-2-3 3-2-3,Takatanobaba, Shinjuku-ku,Tokyo Japan 169-0075
	スウィフトコード (Swift Code)	BOTKJPJT

【注意】

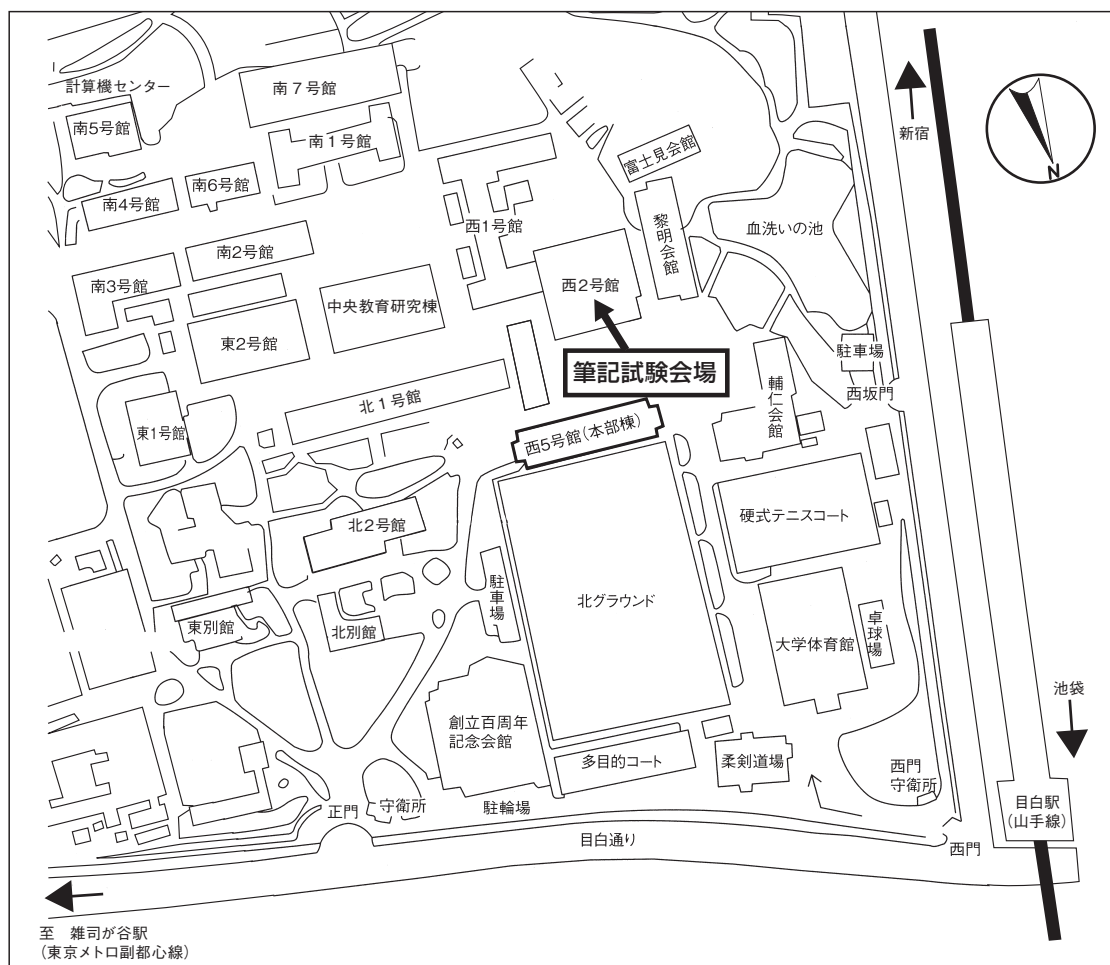
- ① 振込時に発生する振込手数料等（日本の「三菱UFJ 銀行」での円為替取扱手数料（2,500円）＋海外の銀行における送金手数料（銀行によって異なります））は、志願者にてご負担いただきます。
ご負担いただく金額は、入学検定料（35,000円）＋円為替取扱手数料（2,500円）＋送金手数料（ α ）＝37,500円＋ α となります。
- ※ 払込時の書類にて、円為替取扱手数料は「依頼人（受験生）負担」であることを必ず明記してください。
- ※ 「依頼人」欄には、必ず志願者の氏名（アルファベット）を明記してください。
- ※ 銀行によって円為替取扱手数料等の扱いが異なります。振込を行う際、本学に着金する金額が、必要な金額に対して過不足がないかを銀行担当者によく確認のうえ、振込金額を指定してください。
- ② 海外の銀行より日本の三菱UFJ銀行へ振込する場合、海外の銀行の東京支店を経由する必要はありません。直接日本の三菱UFJ銀行高田馬場支店へ振り込むよう、銀行の担当者に伝えてください。海外の銀行の東京支店を経由すると余分な取扱手数料がかかり、本学への入金に不足金が生じますので注意してください。
- ※ 必ず、銀行担当者に本学口座に不足がないよう振込ができるか確認してください。
- ③ 金額に不足がある場合、出願は受け付けられません。
- ④ 日本国内からの代理振込も可能です。その場合は、事前に本学アドミッションセンターにご連絡のうえ、振込の際は、必ず「依頼人」欄に志願者の氏名（アルファベット）を明記してください。
- ⑤ 送金に日数を要する可能性があることを考慮して、余裕をもって送金してください。入学検定料は、出願期間前でも受け付けます。
- ⑥ 志願票の「日本国外の銀行から外国送金」に○印を記入して、必ず外国送金依頼書「本人控」のコピーを出願書類に同封してください。なお、「本人控」の原本は、大切に保管してください。
- ⑦ 入学検定料を海外に返還することとなった場合、発生する手数料（円為替取扱手数料（下表を参照）と支払銀行手数料3,000円）は、志願者の負担となります。

〈参考：送金金額と円為替取扱手数料〉

送金金額	円為替取扱手数料
8,000 円以上 500 万円未満	2,500 円
3,000 円以上 8,000 円未満	送金金額 ÷ 2 - 1,500 円
3,000 円未満	無料

構内案内図

アドミッションセンターは、案内図中央に位置する西5号館（本部棟）4階です。



交通：JR山手線 目白駅下車 徒歩3分
東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車 徒歩10分
※自動車による入出、駐車はできません。

試験場：筆記試験 西2号館
※試験室については、受験票でお知らせします。
面接試験 試験当日にお知らせします。

※本要項に関するお問合せは、下記宛にお願いいたします。

学習院大学 アドミッションセンター（西5号館4階）

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL (03) 5992-1083・(03) 5992-9226

E-mail adms-enq@gakushuin.ac.jp

窓口受付時間 平日 9:00~11:30、13:00~16:30

土曜日 9:00~12:00

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>